

第2回南高教養アップ講座

講師 滋賀大学データサイエンス学部 姫野 哲人 准教授

演題 「データ分析の重要性」

【要旨】 近年、多くの分野でデータ分析の重要性が認識され、データを活用することにより様々

な恩恵が得られている。一例として、POS データを使った商品販売戦略、個人に合わせたネット広告配信、迷惑メール自動振り分け機能、選挙における当確情報などが挙げられる。本講義では、データ分析の流れ、データの活用事例紹介、データ分析を行う際の注意点、データの集計結果を読み取る際の注意点等を中心に紹介する。

【生徒の感想】

○内容を聞いて理系向きかなと思いましたが、たくさん役に立つ話を聞けました。私は経営学部に行きたいので、こういったデータ分析の力も正しく身に付けておきたいと改めて思いました。特に納得したのは、相関と因果を混同しないという話です。テレビのニュースの資料や、ワイドショーで驚きの事実！みたいに報じられるものを見るときも、データに信憑性があるかどうかを気にしてみたいと思います。この経験が大学や仕事に使えるといいです。

○データ分析は今後の社会において重要な役割を果たすと思います。例え別の学問系統に進んだとしても、これからの時代には必須になってくるスキルであると思うので非常に勉強になりました。日常に溢れているデータでも、読み取り方によっては意味が変わることもあります。企業などの掌で踊らされないためにも、データサイエンスを身に付けていきたいです。

○課題研究などで行う実験や観察のデータ処理の仕方について最近気になっていたのので、今回の講義は本当にためになりました。データの処理で一番大切なことは「何を比べるか」ということだと思います。比較を行う、調べたいところなどを明確にしてそれ以外の条件をそろえるなどきちんとした工夫をして、信憑性を持たせられる、事実を反映できるような処理をしていきたいです。

○データの分析の手順がとても分かりやすく説明されていた。データ同士の相関に注目して正確な結果を出すことの重要性や集めたデータをどのようなグラフを用いると分かりやすいかが知れてよかった。ディベートでもデータをよく用いるのでそのデータに相関があるかどうか判断し、的確なアタックができるようになりたい。

○データ分析、データサイエンスが今後の様々なコミュニティで活用できるということがよく分かりました。まずは、目的、リスクなど起こり得るシチュエーションを予測し、それに応じたデータ収集方法を考察することが、良い収集につながるということが分かりました。企業の売上向上、人々の私生活の質を向上させるなど多面的に応用できる、使いやすい、可能性が広い分野だという印象を受けました。主観や第3の変数など気付きにくい上に、データの偏りを起こしうる事象については十分に気を付けてデータの収集をしようと思います。一つの情報に対して多面的に見つめることができれば、その後のデータ分析でも重要な考え方を身に付けられるのではないかと思います。とてもためにな

る講座だったと思います。

○私が今回参加しようと思ったのは、CRの際にデータの扱いを上手にしたいと思ったのと、情報の授業でEXCELを使うのが苦手で、何かヒントをつかみたかったからです。難しい言葉も多かったですが、AIの話は身近に感じ興味が湧きました。統計リテラシーは文理問わず必要となるので積極的に取り組みたいです。

○データサイエンスについて多くの活用例があることに驚きました。特に、IBMのAI「ワトソン」の病気の解析で人の命を救ったという話に感動しました。課題を解決するためにデータを収集、分析することの大切さについてとてもよく分かりました。CRや課題研究のためにデータを収集する際、この講座で学んだことを活用していきたいです。

○今回の講座で「データサイエンス」という言葉を初めて聞きましたが、データを集めることよりもそこからの価値創造が大切であることや、活用できるようになることは社会的にとっても有意義だと実感しました。また、個人的にデータ集計のことを楽しみにしていたので興味深かったです。

○今回の教養アップ講座でデータ分析の重要性、方法、留意事項などたくさんのことを学ぶことができました。大量のデータをAIに読ませ、分析結果を利用することで社会に役立っている具体例がたくさんあり、データというものは使い方でかなり役立つものだと感じました。研究の方法の注意点があり、今CRで行っている調査方法が本当に正しくできているか気にかかるところがあるので、もう一度考え直してみたいなと思いました。

○データサイエンスは一見難しそうな言葉に聞こえたが以外に周りにあふれていた。AIの技術があがり、すごいと思う反面、将来のことを考えると怖いとも思った。コンピュータが発展する社会の中で、コンピュータと向き合っていけるスキルが私たちにも必要だと思った。身の回りにあふれている数値と向き合えるスキルを身に付けたいです。

○とても興味のある分野だったので改めて詳しく知ることができて良かったです。具体例をたくさん出してくださったので、これまでの知識がより鮮明になりました。CRにおいて数多く用いてきたデータの読み取り方も本当に正しかったのかどうか気にかけるきっかけとなりました。印象に残ったのは、IBMのAI「ワトソン」です。このデータサイエンスという分野によって救われた命があったことにとっても感激しました。大学でもこの分野を学びたいと思っているので、とても良い経験になりました。ありがとうございました。